

# 市長に問う

—代表質疑から—

2日間にわたり、令和3年度決算関係議案などについて各会派を代表して5人の議員が質疑を行いました。その一部をご紹介します（詳しくは、市議会ホームページの「議会中継（録画放映）」をご覧くださいませ。

## 自由民主党千葉市議会議員団

中島 賢治

議会中継（録画放映）



### 予算編成段階と比べ原材料や物価が高騰しているが、令和4年度の収支見通しは

**問** 少子超高齢社会や新型コロナへの対応等に加え、原材料や物価高騰にも対策を講じる必要があると考えるが、今年度の収支見直しを伺う。

**答** 物価上昇等による我が国経済への影響が懸念されており、市税収入の動向や行政コストの上昇状況など収支状況を的確に見極める必要がある。これを踏まえ、市税収入の確保や国費の効果的な活用を努めるなど効率的な財政運営に努め、市民サービスの維持向上に取り組んでいく。

### 災害救助法の権限移譲に向けた県との協議の進捗状況と今後のスケジュールは

**問** 権限移譲により、本市が災害救助を主体的に実施することが可能となるが、これに向けた県との協議状況とスケジュールを伺う。

**答** 物資等を適切かつ円滑に配分できるよう、県と本市とで調整を行うための「資源配分計画」の策定に向けた作業を行っている。今後は、災害救助費用の積み立てに必要な基金の設置や、関係団体との連携体制の確保などの準備を進め、来年度早期の権限委譲を目指していく。



麻生 紀雄

議会中継（録画放映）



## 未来立憲民主ちば

### グリーンスローモビリティ<sup>※1</sup>導入に向けた社会実験の見通しは

**問** グリーンスローモビリティを用いた実証調査を希望する地域を新たに公募したが、応募状況と社会実験の見直しを伺う。

**答** こてはし台・横戸台地区、都賀の台地区、幕張ベイタウン地区から応募があり、関係機関等との協議が順調に進めば、本年10月以降、各地区で2週間程度ずつ社会実験を行う予定である。先行する桜木地域の取り組みも参考に、地域の実情に応じたさまざまな支援をしていきたい。

### 小学校の水泳学習における民間スイミングスクール活用の今後の見通しは

**問** 教員の負担軽減を考えると民間委託の実施校を拡充する必要があるが見直しを伺う。移動時間やスイミングスクールの受け入れ可能児童数、各学校の規模等から実施校を精査しており、今年度実施の9校を含む16校程度を対象校にできると考えている。今後は、児童数の推移を注視し、実施回数を見直しに伴う受け入れ可能学校数などを調整することにより、民間委託実施校の拡充に向けた検討を進めたい。

**答** 緑区のセンター増設に伴い相談件数が増えたことから、今年度の美浜区の増設により、さらなる相談の増を見込んでいる。また、CSWiは、増員により各区2人体制としたことから、チームでの対応が可能となり、活動の幅が広がっている。



## 決算審査特別委員会

委員長 川岸 俊洋  
副委員長 亀井 琢磨

令和3年度決算関係議案を審査するため、全議員で構成する決算審査特別委員会を設置しました。分科会審査、意見表明を行い、採決の結果、各会計決算を原案どおり認定し、指摘要望事項を市長に提出しました。

指摘要望事項



### 分科会

専門的な見地からの詳細な質疑応答

内容が多岐にわたる決算関係議案をより詳しく審査するため、分野別に5つの分科会に分かれ質疑を行いました。その一部をご紹介します。

なお、各分科会の所管事項は1面の常任委員会と同じです。

### 総務分科会

自動運転バス等の実証実験結果の活用方法は

**問** 幕張新都心での自動運転バスやパーソナルモビリティ<sup>※6</sup>等の実証実験をどう生かすのか。

**答** 幕張新都心は拠点間に一定の距離があるため、自動運転バス等を活用することで来訪者の回遊性を高め、経済効果に繋げたい。また、今後の人口減少によるドライバー不足の解消や交通不便地域の課題解決に、実証実験で培った技術を生かしたいと考えている。

### 保健消防分科会

生活困窮者対策への評価は

**問** 生活自立・仕事相談センターの増設や、社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカー（CSW）<sup>※7</sup>増員の評価は。

**答** 緑区のセンター増設に伴い相談件数が増えたことから、今年度の美浜区の増設により、さらなる相談の増を見込んでいる。また、CSWiは、増員により各区2人体制としたことから、チームでの対応が可能となり、活動の幅が広がっている。

### 環境経済分科会

ちばレポ<sup>※8</sup>はどのように変わったのか

**問** 令和元年9月から新しいちばレポが運用されているが、どのように変わったのか。

**答** 現在のちばレポは、以前のちばレポをベースに東京大学との共同研究にて開発し、複数の自治体等が参加する共同事業体により運用されている。経費については、以前と比べ、年間130万円程度の削減となっている。また、今年度からはLINEでのレポートもできるようになっている。

### 教育未来分科会

教員のオンライン学習指導技術の向上を

**問** オンライン学習も一般的になったが、教員の技術差による教育の不平等や担任の負担増といった課題をどう受け止めているのか伺う。

**答** 本課題は重要なものとして受け止めており、児童・生徒が平等にオンライン教育を受けられるよう、教育委員会による研修やICT支援員<sup>※9</sup>のサポートによる各校での研修を行うことで、教員の技術向上に取り組んでいる。

### 都市建設分科会

若年層の流入を図り高経年住宅団地の活性化を

**問** 高経年住宅団地では、入居者の高齢化と空き家が問題となっている。この対策の一つとして、新婚世帯が入居する際、住居費等の一部を助成しているが、本事業への取り組み状況を伺う。

**答** 昨年度から所得と年齢制限を緩和し、さらに、今年度からは市外だけでなく、市内からの転居も対象とした。また、制度の認知度向上のため、若年層への効果的な発信方法を検討していく。

## 意見表明

予算の使い方について会派の見解を表明

決算審査特別委員会の採決の前に、会派を代表して6人の議員がそれぞれ令和3年度決算関係議案に認定・不認定の立場から意見表明を行いました。その概要をご紹介します。

### 認定 公明党千葉市議会議員団

引き続き財政健全化に向けた一層の努力を一般会計の実質収支は29億7,900万円の黒字となり、主要債務総額も目標を大きく下回る額まで削減するなど、財政健全化に向けた取り組みに進展が見られます。また、各種施策は、コロナ対策や子育て世帯等臨時特別支援事業への的確な対応をはじめ、おくやみコーナーを全区展開するなど会派の要望に沿うものであり、評価します。今後も財政健全化に向け、一層の努力を求めます。

### 認定 自由民主党千葉市議会議員団

財政健全化に向けた取り組みの継続を一般会計決算の実質収支が29億7,900万円の黒字となる等、財政健全化に向けた取り組みを行ったことや、新型コロナに影響を受ける市民や事業者への確かな支援を実施する等、各種施策を着実に推進したことを評価します。今後も健全性を維持した財政運営に取り組むとともに、新年度の予算編成に当たっては、市民要望や我が会派の指摘をしっかりと受け止め、的確な対応を求めます。

### 認定 市民ネットワーク

市民の声に基づく投資と持続可能な財政運営をコロナ禍でも実質収支を29億円超確保できたこと、財政健全化比率が改善したこと等を評価します。女性のためのつながりサポート事業、災害時要配慮者の個別支援計画作成、公立夜間中学の開校を決定するなど大いに評価できる事業が実施されたことと判断しました。市民とともに課題を考え、また、市民の声に基づく将来投資も推進しながら、持続可能な財政運営を行うことを求めます。

### 不認定 日本共産党千葉市議会議員団

市民生活を守る施策と子育て施策の推進を真に支えが必要な市民への福祉カットを見直す姿勢がなく、大型開発のまともな検証や反省もありません。また、岸田政権の問題点を目をつむり、地方自治を守る姿勢も欠如しており認定できません。市民世論に真摯に向き合う市政運営を行うことと、不要不急の大型開発予算の一部を見直し、コロナ禍・物価高で苦しむ市民生活を守る施策及び子育て施策を更に推進することを求めます。

### 認定 未来立憲民主ちば

未来を創るための投資の推進を一般会計決算では、約30億円の黒字が確保されたこと、最終年度を迎えた第3期財政健全化プランでは、基金借入金残高の削減などの目標が達成されたこと、また、会派が求めている施策が着実に図られたことを評価します。感染症や原油価格・物価高騰への対応と将来負担とのバランスに配慮しつつ、将来にわたり持続可能な財政構造と未来を創るための投資の推進に向けた最大の努力を求めます。

### 認定 千葉市議会自由民主党・無所属の会

市税等の収入確保のため、今後の対策の検討を市税等自主財源の取入が、昨年度と比較して約130億円減収となったことは、深刻に受け止めなければなりません。一方、基金からの借入金の償還を30億円増額し借入残高を約197億円まで削減したことや、市債発行を33億円減額し市債残高を約75億円削減したこと等は高く評価します。本市の財政状況は極めて厳しいと考えますが、評価すべき点も多く、今後もさらなる取り組みを求めます。

## 用語解説

- ※1 グリーンスローモビリティ
- ※2 GIS（地理情報システム）
- ※3 NFT（非代替性トークン）
- ※4 DX（デジタルトランスフォーメーション）
- ※5 リスキリング

時速20km未満で公道を走ることができる電動車とそれを活用した小さな移動サービスの総称  
コンピュータ上でさまざまな地理空間情報を重ね合わせて表示するためのシステム  
複製・偽造の不可能な証明書を付与したデジタルデータであり、デジタルアート等に唯一無二の価値をつけることができる。  
デジタル技術を活用して利便性の向上や効率化などを進め、生活や仕事などさまざまな分野での課題解決を図ること  
技術革新やビジネスモデルの変化に対応するために、企業や自治体が人材戦略として職員に学びの機会を与えるもの

## 会派等

- 議員定数50人（令和4年10月26日現在）
- ◆自由民主党千葉市議会議員団13人
- ◆公明党千葉市議会議員団8人
- ◆日本共産党千葉市議会議員団6人
- ◆無所属3人
- ◆未来立憲民主ちば11人
- ◆千葉市議会自由民主党・無所属の会6人
- ◆市民ネットワーク3人

## 公明党千葉市議会議員団

桜井 秀夫

議会中継（録画放映）



### 犯罪情報の見える化による防犯対策の強化について

**問** 犯罪認知件数をオープンデータ化し、地域防犯活動を推進すべきと考えるが見解は。

**答** 安全・安心メールで配信した犯罪情報をホームページで提供しているが、今後、町丁別の犯罪件数等の提供も検討する。さらに、GIS<sup>※2</sup>を活用し犯罪情報を地図上で表すなど分かりやすい情報提供に努め、防犯意識の向上を図っていく。

### 今後の資産老朽化対策と将来負担との兼ね合いについて

**問** 公共施設やインフラの老朽化が進んでおり、これらを改善すると将来負担すべき債務等が膨らんでしまうが、その兼ね合いは。

**答** 施設の更新など、行政サービス維持に投資が必要な局面を迎えているが、建て替えや長寿命化対策等の必要な投資と将来負担のバランスを踏まえ、持続可能な財政運営に努める。



老朽化した新港清掃工場の代替として建設中の新清掃工場（完成予想図）

## 日本共産党千葉市議会議員団

花澤 洋平

議会中継（録画放映）



### 市や市長による旧統一教会関連団体への関与は断ち切るべき

**問** 祝電送付や後援等を行っていたが、市長はもとより市も関係を断ち切るべきではないか。

**答** 旧統一教会と関連団体には、今後、後援等を行わないこととしている。また、社会的に問題が指摘されている団体等の行事の後援等を行わないよう、現在、基準の見直しを進めている。

### 市民生活と事業者を守るための物価高騰対策に緊急に取り組むべき

**問** 光熱費の値上がりが続くが、電気代補助等の光熱費負担軽減支援に取り組むべきでは。

**答** 低所得者への給付金や新型コロナ関連の交付金の増額が閣議決定されたことから、これらを活用しつつ、市民生活等への影響を踏まえ、必要な対策はできる限り速やかに事業化したい。



## 千葉市議会自由民主党・無所属の会

阿部 智

議会中継（録画放映）



### NFT<sup>※3</sup>を付与したデジタルアートの市政への活用についてどのように考えているか

**問** ふるさと納税の返礼品にNFTを活用する自治体があるが、本市の考えを伺う。

**答** NFTは文化芸術の振興にとって画期的な活用可能性を内包しているが、その特性にはさまざまな留意点があるとの国の報告があることなどから、国等の動向を注視し、研究していく。

### 昨今のデジタル技術革新などを受けた、本市の人材育成の考え方は

**問** DX<sup>※4</sup>関連のリスキリング<sup>※5</sup>の需要が高まっているが、職員の人材育成の考え方を伺う。

**答** デジタル化推進に必要な専門的知識習得のための研修への職員派遣や基本情報技術者等の資格取得支援等を行っている。今後も研修制度等の充実を図り、職員の育成に取り組んでいく。



リスキリングの風景